

(様式4)
令和5年6月1日

令和5年度 第1回 大阪市立墨江丘中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立墨江丘中学校
校園長名 林 憲治郎

日 時	令和5年6月1日(木) 18時30分～19時30分		
場 所	大阪市立墨江丘中学校		
出席者	委員など	加藤孝之(会長) 村田 望(委員) 西田 麻希(副会長) 清水 里佳(委員) 中谷 亨(委員)	
	校園	林 憲治郎(校長) 橋口 徳治(教頭) 島谷 裕美子(学校元気アップ地域本部)	
	区役所	佐藤 忠義(教育文化課 課長代理)	
議題	(1) 区役所より 学校協議会について (2) 学校長より (3) 自己紹介 (4) 学校運営の計画について (5) 年間行事予定について (6) 学校元気アップについて (7) その他		
協議要旨	協議の結果		意見の概要
	(1) ○区役所より 学校協議会についての説明 (2) ○学校長より コロナウイルスも2類から5類へ なったことで、学校行事や様々 な子どもらしさをさらに追及 した1年間にしたいと思う。 (3) ○令和5年度運営に関する計画に ついて (教頭より説明) 郵送による資料の配布。学校協議 会の目的・委員の役割等につい て共通理解が図れたものとす る。	○ 教頭：橋口より 学校運営の土台となる、方針、目指すべきビ ジョンについて運営に関する計画に記載 している。その土台となるのが、令和7年 度に向けた教育振興基本計画である。 3つの柱である、 1、安全安心な教育の推進 2、未来を切り拓く学力・体力の向上 3、学びを支える教育環境の充実 の大きな柱があり、各教員はこの3つの柱 を土台としての各自の達成目標を設定し ている。 運営に関する計画の数値については、定点 観測することから昨年度より上回ること	

		<p>○村田委員より 誰一人取り残さない教育の実現に向けてについて、具体的な対応は？</p> <p>○中谷委員より 不登校生はどれくらいいか？</p> <p>(5) ○年間行事予定について説明</p> <p>(6) ○学校元気アップ活動について (島谷委員より説明)</p> <p>○村田委員より 浴衣の着付け教室は、住吉大社の祭りや地域のお祭りのときにやると多くの人が来るのでは？</p> <p>(7) ○教頭より 昨年度より 20 日以上給食実施日を増やしたがどうか？</p> <p>○学校長より 学校教育の在り方が問われている。受験の手法ばかりを教えて、社会に出たときに、人とのコミュニケーションや人間力と言われる力が心配である。 子どもたちが自ら企画する、作っていく世界を体験させて育成していきたいと考えている。 受験のための学校ではなく、子どもたちがしっかりと生き抜いていくための力とは何か？を考えて学校運営を進めていきたい。</p>	<p>を目標としている。</p> <p>校長：教頭より ○以前のパソコンルーム内を改築し、個別学習指導教室を設置した。学びの多様性という時代において、教室だけの学びではなく、各戸別ルームを活用しての対応も考えている。</p> <p>○不登校生は昨年度、文部科学省が定める基準 30 日以上の欠席者は 39 名であった。今年度も各学年 10 名程である。 不登校の理由も様々であり、家庭的な課題、集団での人間関係など多岐に渡っている。</p> <p>○学校元気アップ活動の令和 4 年度の活動報告について 自主学習会・朝の絵本の読み聞かせ、図書館の整備、エンジョイイングリッシュ・漢字検定。浴衣の着付け教室。その他（授業補助）などを通じて、子供たちの居場所づくりを行っている。</p> <p>○島谷委員より 今後要検討する。 学校の登校日であれば、事前の出欠、参加の有無があると子どもたちの把握は可能ですが、学校がない日は安全管理に課題が残る。</p> <p>○各委員より 保護者から高評である。このまま継続していただきたい。</p>
--	--	--	--

	<p>○加藤会長より 今年度から会長をさせていただいて、このような子どもたちにとって何がベストか？何がいいのかを議論するとても「熱い」お話を聞けて、私も何かできないか？を考えるきっかけとなった。 何ができるか考えて PTA とも協力して学校に関わっていきたいと思う。</p> <p>○閉会</p>	
協議資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「大阪市立墨江丘中学校 学校協議会運営要項」 2. 「大阪市立墨江丘中学校 学校協議会傍聴要領」 3. 「令和5年度 年間行事予定(案)」 4. 「令和5年度 運営に関する計画」 5. 元気アップ資料 	
その他	傍聴者なし	